

2025 年 10 月 21 日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
三菱 UFJ 信託銀行株式会社
日本マスタートラスト信託銀行株式会社

資産運用会社のミドル/バック業務の BPO 受託残高 100 兆円突破および 今後のインベスターサービスビジネスにおける取り組みについて

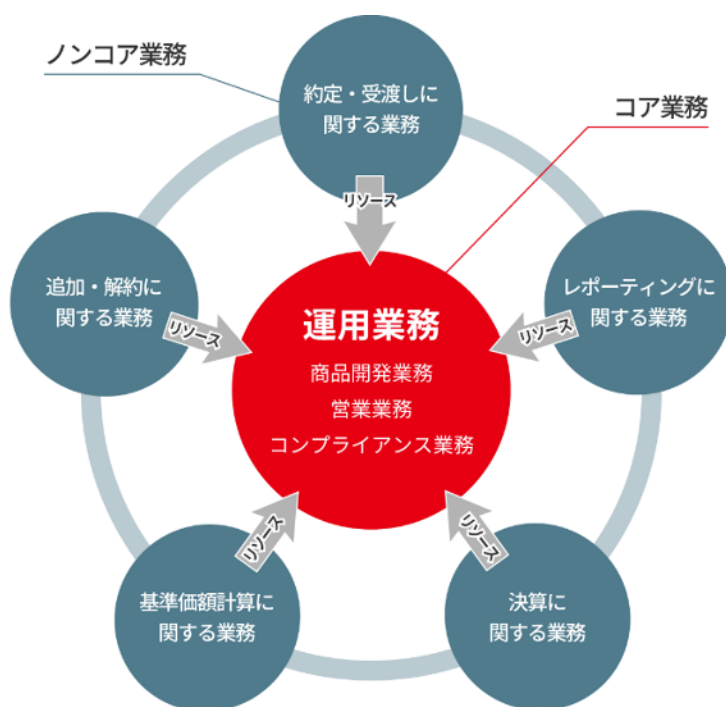
株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ(代表執行役社長 亀澤 宏規^{かめざわ ひろのり}、以下 MUFG)、三菱 UFJ 信託銀行株式会社(取締役社長 窪田 博^{くぼた ひろし}、以下 三菱 UFJ 信託銀行)、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(代表取締役社長 安藤 裕史^{あんどう ゆうし}、以下 日本マスタートラスト信託銀行)は、2024 年 1 月 15 日に策定した資産運用ビジネス戦略^{※1}で目標として掲げた資産運用会社^{※2}のミドル/バック業務の BPO^{※3}受託残高 100 兆円について、当初達成時期として定めた 2030 年 3 月末から前倒しで達成いたしました。今後は、提供サービスの更なる拡大に取り組み、資産運用会社が運用に特化できる環境の整備と資産運用業界の効率性改善を目指します。

1. これまでの取り組みについて

MUFG は政府の掲げる「資産運用立国」の実現に貢献すべく、インベスターサービスビジネスを成長領域として位置付け、資産運用会社が運用に特化できる環境の提供に注力してまいりました。

資産運用会社には基準価額の算出に関する業務やレポーティングに関する業務等に代表される様々なミドル/バック業務が存在し、当該業務を担う人材の確保やシステム費用の支払いなど多くの経営資源が必要となります。三菱 UFJ 信託銀行および日本マスタートラスト信託銀行はこうした課題を解消すべく、1995 年に業界に先駆けてミドル/バック業務の BPO サービスをリリースし、「資産運用立国」の流れの中で益々高まるアウトソースニーズに対し、資産管理残高本邦 No.1 の強みを活かしながらミドル/バック業務受託の促進を行い、提供を拡大してまいりました。

かかる中、新興資産運用会社から大手資産運用会社に至る幅広い資産運用会社からミドル/バック業務の BPO 受託を獲得し、2030 年 3 月末までの目標である 100 兆円を 2025 年 9 月末に達成いたしました。



2. 今後のビジネス戦略について

今後も MUFG、三菱 UFJ 信託銀行、日本マスタートラスト信託銀行は資産運用会社が運用に特化できる環境の整備に向け、ミドル／バック業務の BPO サービスの提供範囲の拡大に取り組めます。他にも、2015 年に三菱 UFJ 信託銀行が業界に先駆けてリリースした、フロント業務の BPO 関連サービスである「為替マネジメントサービス」に代表されるように MUFG が持つ様々な機能を結集し、資産運用会社が抱えるオペレーションやファンド組成に係る様々な課題を解決するソリューションの開発に努めてまいります。

以上

※¹ 三菱 UFJ フィナンシャル・グループの資産運用ビジネスの取り組みについて

https://www.mufg.jp/dam/pressrelease/2024/pdf/news-20240115-001_ja.pdf

※² 投資信託委託会社を指す

※³ BPO (Business Process Outsourcing)